

一般社団法人 日本社会福祉学会

第69回秋季大会

日時 2021年9月 11日(土)~12日(日)

開催校 東北福祉大学

※オンライン開催 (Zoomミーティング、Zoomウェビナー)
一部を会期後にオンデマンドで配信予定



開催のご案内

大会テーマ

死から生を見つめる福祉

事務局

第69回秋季大会事務局(東北福祉大学)

大会ヘルプデスク

日本社会福祉学会大会ヘルプデスク

〒162-0801東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター
FAX: 03-5227-8632 Email: jssw-desk@bunken.co.jp

大会ホームページ

<http://www.jssw.jp/conf/69/>



一般社団法人

日本社会福祉学会

Japanese Society for the Study of Social Welfare

日本社会福祉学会第 69 回秋季大会

死から生を見つめる福祉



第 69 回秋季大会 大会長
東北福祉大学 学長 千葉公慈

大会会長挨拶

日本社会福祉学会第 69 回秋季大会を、皆様をお迎えし開催できますことを、心から喜びとするとところです。この大会は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、一年遅れて本学において開催となりましたに、ひとしおの感があります。

私たちは、様々な課題を抱えながらも、絶えずこれを克服し前進しております。新型コロナウイルス対策についても、世界中の多くの人々の叡智を結集して、ニューノーマルに対応した国際的なプロジェクトが実施されており、本学におきましても大学教育の社会に対する責任を果たすために、様々な取り組みを実施したところでございます。

東北福祉大学は、開学以来 146 年を迎えます。この間、曹洞宗の宗門の人材養成のほか、社会福祉関係者の人材養成に取り組み、今日に至っており、各界で活躍しております。また、長く東北において数少ない社会福祉関係の大学ということもあり、人材養成のほかに、各種の社会福祉関係の学会の開催会場ともなりました。

今日、少子高齢社会と言われ、かつ人口減少時代が到来してきている中で、今後の社会福祉のあり方について広く多くの方々と議論することは極めて重要であり、本学にてオンラインで学会を開催できますことを意義深いものと考えているところです。

今回の大会において、今後の社会福祉のあり方等について、様々な議論がなされることと存じます。

皆様の充実した研究の礎が築かれることと、日本社会福祉学会のますますの発展をお祈り申し上げます。

実行委員長 挨拶



第69回秋季大会 実行委員長

東北福祉大学 教授 都築光一

パンデミックの影響で一年遅れの開催となりました。これまでの開催要項を見直し、あらためてご案内申し上げるところです。なお今回は、オンライン開催となりました。

今回の大会のテーマは、人の「死」について取り上げました。

少子高齢化に加えて人口減少社会をむかえ、私たちは毎日のように、人の死の知らせを耳にしております。死を迎える方々には、家族のほかに医療関係者や福祉の関係者が見守れている方々もおります。一方で、誰にもみとられずに、ひっそりと迎えている方々もおります。さらには、既に他界されているにもかかわらず、人々が集まると必ずと言ってよいほど話題に上る方もいます。一方で、実際に地域内で生活されているにもかかわらず、誰にもその存在を知られることなく暮らしている方もいます。このような現実から、人の死をとおして人の存在も含め、あらためて社会福祉の立場からどのように認識するのかを議論することは、こんにちの日本において、とても意義のあることと考えます。

亡くなる方の中には、その死の前後に、様々な場や人を通じて社会福祉との関わりを持っている方がおります。また、亡くなる方の周囲には、多くの方々が様々な形で関わりを持っている場合もあり、亡くなる方の死を周囲の方々がその人々なりに受け入れていております。人々の生活があるからこそ、病や災害、事故など様々な死がそこにあり、そうした姿は、東北においても数多く見受けられます。

こんにち社会福祉の関係者は、多様な価値観と変転する複雑な社会システムの中で、様々な生活上の課題を抱えて生活している人々に対する実践を展開することと併せて、有無を言わずに対応を迫る人の死という現実と直面し、その対応のあり方が課題となっております。わが国のこれからの社会において、社会福祉の役割が一層重視されていく中で、死の認識のあり方と、死にゆく人々とその関係者に対する社会福祉の対応のあり方を、しっかりと議論し深めてゆく必要があります。

これまで取り上げられることのなかったテーマであるだけに、多くの皆さんに参加いただき、活発な議論がなされることを期待しております。

実行委員会をはじめ、関係者一同、皆さんのご参加を心からお待ち申し上げます。

日本社会福祉学会第69回秋季大会の概要

1. 大会テーマ 死から生を見つめる福祉
2. 大会日時 2021年9月11日(土)～12日(日)
3. 大会会場 Zoom ミーティング、Zoom ウェビナーによるオンライン
一部を、会期後に、オンデマンド配信の予定

本大会は、Zoom を使用したリアルタイム配信、および、一部のプログラムはリアルタイム配信に加えて、大会終了後に、オンデマンドによる動画配信により、一定期間は視聴できます(参加登録者のみ)。オンデマンドで配信するプログラムは、【オンデマンド】の表記がついています。詳細は決まり次第、大会ホームページへ掲載いたします。

4. 開催校 東北福祉大学
[〒981-8522 宮城県仙台市青葉区国見 1 丁目 8-1]
5. 主催 一般社団法人 日本社会福祉学会
日本社会福祉学会第69回秋季大会実行委員会
6. 共催 東北福祉大学

大会日程(1日目)

9月11日(土)

- 10:00～13:00 スタートアップ・シンポジウム【オンデマンド】
- 12:00～13:00 休憩
- 13:00～14:00 開会式・学会賞授賞式
- 14:15～17:45 大会校企画シンポジウム【オンデマンド】

【スタートアップ・シンポジウム】(研究支援委員会)【オンデマンド】

テーマ：研究テーマの育て方について考える

【シンポジスト(報告順・報告者は調整中)】

- 第1報告：大学院生(学部から大学院へ進学)
- 第2報告：現場に従事しながら大学院生として学んでいる方
- 第3報告：大学教員等として勤務をスタートした方

【コメンテーター】

小林 良二（東京都立大学名誉教授）

【司会】

保正 友子（日本福祉大学） 日本社会福祉学会研究支援委員会委員長

※敬称略

研究者として「研究テーマ」をどのように追究していくか、自分自身が大切にしている「研究テーマ」をどのように深めていくか、それは研究を始めた大学院生や若手研究者の皆さんにとっては大変大きな課題であり、また興味関心が大きいテーマではないでしょうか。本シンポジウムでは、とくに研究の初期段階にある方々の研究テーマの育て方に焦点をあて、若手研究者をとりまく状況をふまえて、研究の進め方について考えたいと思います。

複数の研究者から、現在の研究テーマの設定方法や研究の進捗状況、ご自身の環境下において研究を進める上での悩みや困りごとについてご報告いただき、コメンテーターからそれぞれの立場におけるヒントや助言を得る機会としたいと思います。

大学院生、福祉現場に従事しながら研究を進めている方、大学教員として研究がスタートした方、それぞれの立場からご発題いただき、様々な環境下において研究を進める方策について、みなさんとともに考えたいと思います。

【大会校企画シンポジウム】【オンデマンド】

テーマ：「死から生を見つめる福祉」～改めて生と死から社会福祉を捉えなおす～

【基調講演】

死から生を見つめる福祉（仮）

宇都宮輝夫（北海道千歳リハビリテーション大学、北海道大学名誉教授）

【シンポジスト】

井上 博（社会福祉法人愛泉会理事長、日本知的障がい者福祉協会会長）

佐藤 久男（NPO 法人 蜘蛛の糸）

斉藤 仙邦（東北福祉大学）

【コーディネーター】

都築 光一（東北福祉大学）

※敬称略

社会福祉は、人の死をどのように捉え、その上で「生」と「死」にどのように向き合うのか、議論する。

人の死は、本人の死と、それを見つめている周囲の人々が受け止める死がある。そしてさらに、周囲の人々が受け止める死は、本人の死で終わらない場合が少なくない。このとき社会福祉は、どのように本人や周囲の人々に接し、どのような支援が必要なのかを考える際、「死」に向き合ってこそ、「生」のあり方を再認識することも可能となる。そのための具体的な支援のあり方も、様々な視点からの検討が必要である。

少子高齢社会を迎え、人の死は極めて身近なものとなってきている。社会福祉の各現場の中でも高齢者福祉の現場では、死に直面している方々に寄り添うという場面が日常化してきている。また、近年度重なる災害の現場において、死と直面する場面や家族を失った方々と向き合う場面も少なくない。社会福祉の現場では、施設職員や医療ソーシャルワーカーの間で、個別事例や研究発表された事例などの報告が見受けられる。今後は少子高齢化の進行によって、「死」の場面で、本人のみならず近親者に対する社会福

社の立場からの支援のあり方が議論され、必要とされるものと思われる。これまで東北では、震災などの経験や超高齢化の進行による経験さらには高い自殺率など「死」における福祉分野の関わりは少なくない。

こうした点から今大会においては、今後に向けて社会福祉学では質や量ともに重要と思われるテーマとして「死」を取り上げ、議論を深めたい。

大会日程（2日目）

9月12日（日）

9：30～12：00 口頭発表A

特定課題セッションⅠ～Ⅶ

9：30～12：00 留学生と国際比較研究のためのワークショップ【オンデマンド】

12：00～13：00 休憩

13：00～15：30 学会企画セッション【オンデマンド】

13：00～15：30 口頭発表B

※E-ポスターは、9月11日（土）～10月11日（月）まで閲覧できます。

【留学生と国際比較研究のためのワークショップ】【オンデマンド】

テーマ：コロナ禍における国際社会福祉研究・教育活動

コロナ禍において、海外渡航や訪問調査が制限され、国際社会福祉研究の遂行が極めて難しくなっている。一方で、オンライン等を通じたコミュニケーションのあり方が模索され、新たな研究方法も創出されつつある。これまで、国際社会福祉研究を組織・コーディネートした経験をもつ研究者、海外で活動する研究者から、コロナ以前からコロナ禍にいたる国際社会福祉研究・教育の現状と課題について報告いただき、ウィズ・コロナからアフター・コロナを見据えた国際社会福祉研究・教育の可能性を展望する。

<第1部>

【発題者】

金 成垣（東京大学）

松尾加奈（淑徳大学アジア国際社会福祉研究所）

菅野花恵（米国バルドスタ州立大学）

【コーディネーター】

黒田 文（東北福祉大学）

浅野貴博（ルーテル学院大学）

＜第2部＞ ブレークアウトルームによる懇談会

（発題者および国際学術交流促進委員がモデレーターとなり、複数の部屋に分かれて懇談会を実施。参加者数によりルーム数を設定・調整予定）

※敬称略

新企画

【学会企画セッション】【オンデマンド】

今大会から「学会企画セッション」を設置することにしました。「学会企画セッション」は、学会の研究委員会が企画し、会員の研究力を高めることを目的としています。当面は、「社会福祉学における研究方法論を考える」をシリーズテーマとして開催します。

テーマ：社会福祉学における研究方法論を考える
～量的研究と質的研究の背景にある考え方を探る～

【シンポジスト】

交渉中

【コーディネーター】

岡田進一（大阪市立大学）

※敬称略

日本社会福祉学会においては、これまで、さまざまな分野での研究が行われ、量的あるいは質的な研究方法論などが用いられ研究が進められてきました。今回の学会企画セッションにおいては、量的研究や質的研究を進めていく上で重要となるそれぞれの研究方法論の基本的な考え方について議論を深めていきたいと考えています。そこで、まず、量的研究や質的研究における基本的な考え方、あるいは、量的研究や質的研究で明らかにできることや、その限界についての議論を行います。その上で、量的研究と質的研究との関係は、どうあるべきなのかについての議論を進めていきたいと考えています。

特に、今回の学会企画セッションにおいては、シンポジストらが量的研究、あるいは、質的研究を進めていく上で、どのようなことに留意をしながら研究を進めているのか、また、研究の限界も意識しながら、どのような配慮を行いながら研究を進め、論文作成を行っているのかについての議論を行い、日本社会福祉学会における今後の研究のあり方についての考察を深めます。この議論を通じて、今回のセッションが、研究者として、あるいは、実践家として、社会福祉学における科学的な研究のあり方を、私たちが見つめ直す機会となればと考えています。

【特定課題セッション】(学会企画)

特定課題セッションⅠ

「ソーシャルワークから今一度ソーシャルポリシーへー司法と福祉の連携からー」
コーディネーター：大西 次郎（大阪市立大学 大学院）

特定課題セッションⅡ

「ジェンダー/フェミニズムからソーシャルワークを問うー何が実践に求められているのかー」
コーディネーター：横山 登志子（札幌学院大学）

特定課題セッションⅢ

「今、改めて問う社会福祉士の倫理と価値ー社会福祉士業務を AI が代行する際の倫理とルールを中心にー」
コーディネーター：川島 典子（福知山公立大学）

特定課題セッションⅣ

「災害対応において今後、社会福祉に求められる役割」
コーディネーター：大島 隆代（早稲田大学）

特定課題セッションⅤ

「子ども・子育て家庭にとっての現代の生きづらさと社会福祉のあり方を考えるーコロナ禍・貧困・虐待・社会的孤立等ー」
コーディネーター：松村 智史（東京都立大学）

特定課題セッションⅥ

「早期発見・早期治療システムを再考するー「子育て支援」としての障害のある子どもと家族の支援とはー」
コーディネーター：一瀬 小百合（和光大学）

特定課題セッションⅦ

「介護福祉分野における専門職のグローバル化と国際協力に関する課題」
コーディネーター：永嶋 昌樹（日本社会事業大学）

※敬称略

■ 事務上の取扱い事項 [重要]

※その１ 大会要旨集を大会HP上で事前公開し、終了後も学会HP上で公開します

第 59 回大会から、これまで事前申込み者しか閲覧できなかった要旨集を、だれでも閲覧することができ、大会終了後に確定版となった要旨集は、学会のHPのアーカイブとして保存し、過去の大会要旨集の更なる利用につなげています。

※その２ 大会プログラムの事前送付はしておりません

「大会プログラム」の事前送付は、原則として行っていません。大会日程と会場、研究発表（口頭発表・E-ポスター発表・特定課題セッション）の発表者・タイトル・発表要旨等は、確定次第、順次「大会ホームページ」に掲載いたします。大会プログラムの公開は 7 月下旬（速報版）および 8 月中旬（抄録を含む詳細版）を予定しています。

※その３ 大会発表申込み資格の手続きについて

すでにホームページでお知らせしておりますが、発表申し込み資格は 2021 年 4 月現在、日本社会福祉学会の会員であることが前提です。

ただし、新規入会される場合、4 月 14 日（水）（消印有効）までに入会届をご提出いただくと、審査を経て 2021 年度秋季大会の発表申し込み資格が生じます。新規入会を承認されましたら、速やかに入会費・年会費（2021 年度）をお納めください。お納めいただけない場合、発表を取消させていただく場合もございます。

※その４ 参加費の支払方法について

今回の第 69 回秋季大会から、従来の郵便振替による支払と併せてクレジット支払を導入いたします。また、参加申込時期によって、参加費を「早割料金」と「通常料金」の 2 段階に設定いたします。詳しくは『参加申込のご案内』をご覧ください。

※その５ 参加費の領収書の発行方法について

今回の第 69 回秋季大会から、オンラインによる事前参加登録を行い、参加費の支払が完了した方は、オンラインで領収書を自動で発行することができます。

クレジット支払いを行った方は決済直後から、また、郵便振替による支払いを行った方は、入金を確認された後に領収書の発行が可能となります。領収書の「発行日」、「あて先」については、発行時に設定できます。

※その６ ポスター発表方法について

今回の第 69 回秋季大会はオンラインでの開催となりますので、ポスター発表は第 68 回秋季大会と同様に、E-ポスターでの発表といたします。詳しくは『発表申込み要領』をご覧ください。

なお、ポスター発表を選ばれた場合も、発表申込時に、A4 版 2 ページの要旨集掲載原稿（PDF）を提出していただきます。

※その７ シンポジウムのオンデマンド配信について

今回の第 69 回秋季大会では、会期後に、「大会校企画シンポジウム」、「スタートアップ・シンポジウム」、「留学生と国際比較研究のためのワークショップ」および「学会企画セッション」について、オンデマンドで配信を行います。

※その8 オンライン大会会場について

今回の第69回秋季大会では、参加申込を行った方のみが入ることのできる、オンライン大会会場を設けます。口頭発表、特定課題セッションへの参加・発表、E-ポスター原稿の閲覧、各シンポジウムへの参加、シンポジウムのオンデマンド配信動画の視聴などは、すべて、オンライン大会会場から行います。

詳細につきましては、大会ホームページでご案内いたします。

※皆様にはいろいろとお手数をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

重要日程

■研究発表資格のための新規入会申込の締切：4月14日（水）（消印有効）

■研究発表（ポスター発表を含む）申込の締切

：オンライン申込締切 5月17日（月） 24：00

■事前参加登録（オンライン）の締切

：郵便振替 8月20日（金） 24：00

：クレジット 9月12日（日） 24：00

■早割料金での参加登録の締切：

8月20日（金） 24：00

■事前参加費の払込み締切：郵便振替

8月25日（水）

■E-ポスター原稿の提出締切

8月9日（月） 9：00

参加申込みのご案内

大会参加申込みの手続きは、すべて「日本社会福祉学会大会ヘルプデスク」が取り扱います。申込、変更、取消等は、前年度同様インターネットを利用したオンライン登録です。

[大会ホームページアドレス] <https://www.jssw.jp/conf/69/>

		早割料金 8月20日（金）までに参加登録（オンライン）をされた場合	通常料金 8月21日（土）以降に参加登録（オンライン）をされた場合
大会参加費	会員	3000円	4000円
	非会員	3500円	4500円
	大学院生・学部生	1500円	2000円
	※「学生会員」登録者	参加費免除	

※「学生会員」登録者とは、正会員の内、大学院生等の学生が、8月2日までに所定の手続きをして得られる会員身分です。この会員身分に登録された者は、その年の秋季大会の参加費が免除され無料になります。登録は毎年行う必要があります。詳しい登録方法は「日本社会福祉学会」のホームページをご覧ください。

※今年度から「クレジット支払」を開始します。

※今年度から、オンラインで事前参加登録を行った方は、郵便振替、クレジット支払いともに、領収書（PDF）をオンラインで発行することができますので、領収書が必要な方は、ご自身で発行してください。

※8月20日（金）までに参加申込を行った場合、「早割」の参加費が適用されます。

※クレジットカード決済は、(株)国際文献社が決済業務を代行しています。クレジットカード明細には「国際文献事務センター」または「コクサイブンケン ジムセンター」、海外のカード明細の場合は「IAP CONFERENCE SERVICE」と記載されます。あらかじめご了承ください。

■ オンラインによる事前参加登録の締切

事前参加登録（オンライン）は、大会会期当日まで可能です。ただし、郵便振替での申込は8月20日（金）の24：00までです。それ以降は、クレジット決済での申込のみとなります。

■ 事前参加費について

8月20日（金）の24：00までに事前参加登録（オンライン）を行った場合と、8月21日（土）以降に参加登録を行った場合では、大会参加費が異なります。

■ 郵便振替での申込の場合の事前参加費の払込み締切

支払を「郵便振替」で行う場合、8月25日（水）までに参加費等を、指定口座にお振り込みください。期日までにお支払頂けません場合には、事前参加登録を取り消させていただきますので、ご注意ください。

なお、一旦納入された参加費は、不参加であっても、払い戻しはいたしません

※「郵便振替」は、指定の郵便振替口座へ事前参加費をお振込みいただくお支払方法です。

郵便振替口座へのお振込みには、主に下記の 3 つがございます。いずれかの方法にてお振込みをお願い致します。

- ①郵便局備え付けの払込取扱票の使用
- ②ゆうちょ総合口座からの振り替え
- ③ゆうちょ銀行以外の銀行からの振込み

[①または②の場合の振込先]

口座名称：日本社会福祉学会全国大会運営委員会

(ニホンシャカイフクシガッカイゼンコクタイカイウンエイイイ)

口座番号：00140-6-729113

[③の場合の振込先]

指定口座：ゆうちょ銀行 〇ー九（ゼロイチキュウ）店（019）当座 729113

口座名義：日本社会福祉学会全国大会運営委員会

(ニホンシャカイフクシガッカイゼンコクタイカイウンエイイイ)

■ 書店等のオンライン広告について

詳細は決まり次第、大会ホームページへ掲載いたします。

■ 手話通訳・要約筆記等、および障がいによる合理的配慮提供について

開会式、各種シンポジウムおよび学会企画セッションでは「文字通訳」（4 名連携入力の予定）を配置します。研究発表（口頭発表・特定課題セッション）では、聴覚障がい等により個別に情報保障の必要な方は、オンライン事前参加登録時にお申し出ください。同様に、障がいによる合理的配慮が必要な方も、オンライン事前参加登録時に必要な配慮事項を具体的に入力ください。

合理的配慮を事前申し込みいただいた方には、大会までに必要事項等を大会事務局からメールにて連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

なお、8 月 15 日（日）24：00 以降の合理的配慮提供のお申し出には、対応できない場合もありますのでご承知ください。

■ 大会へのオンライン参加について

今回の第 69 回秋季大会では、参加申込を行った方のみが入ることのできる、オンライン大会会場を設けます。オンライン大会会場からは、各種シンポジウム、研究発表への参加、および、大会会期後のオンデマンド配信の視聴などができます。

オンライン大会会場へのリンクは、第 69 回秋季大会ホームページへ設置いたします。詳細につきましては、大会ホームページでご案内いたします。

発表申込み要領

発表区分	申込方法	締切日
研究発表 ・ 口頭発表 ・ ポスター発表 (E-ポスター) ・ 特定課題セッション	ホームページよりオンライン申込 (参加申込も同時に行います)	5月17日(月) 24:00 (発表申込および要旨集掲載原稿とも)

■ 研究発表について

今回の第 69 回秋季大会では、研究発表として、口頭発表、ポスター発表、特定課題セッションを開催いたします。

口頭発表と特定課題セッションは、Zoom ミーティングを用いたオンライン開催となります。また、ポスター発表は、昨年の第 68 回秋季大会と同様に E-ポスター発表で行います。

■ 発表資格

研究発表(口頭発表・ポスター発表(E-ポスター)・特定課題セッション)の応募資格は、2021 年 4 月末現在、日本社会福祉学会の会員として理事会で承認されていることが前提です。応募される時は必ず「会員番号」を入力してください。共同研究報告の場合、1 名でも会員番号の記載がない場合は受理できません。

連名者も、大会参加申込を行って下さい。

また、発表の申込みをした会員(連名者も含みます)は、発表申込時に「2021 年度の会費」が納入済みであること(未納会費がないこと)、8 月 25 日(水)までに大会参加費を納入済みであることが必要です。

いずれについても未納の場合、発表を取り消す場合があることをご承知おきください。

■ 発表件数

発表は、1 会員 1 演題(口頭発表・E-ポスター発表・特定課題セッションのすべてを含む)に限ります。したがって、演題の申込みは必ず筆頭発表者(ファースト・オーサー)が行ってください。演題の申込者と筆頭発表者が異なる場合は受理できません。なお、発表とは別に、他の研究発表等で共同研究者として名前を連ねることは可能です。

口頭発表について、同一テーマによる発表は「その(1)」「その(2)」までとします。ただし、ルールは 1 テーマ 1 発表なので、「その(1)」「その(2)」が認められるのは、内容が別の研究と認められる場合に限りです。

口頭発表において共同研究者との関連発表を登録したい場合には、オンラインによる発表申し込み後に、「各種申込みページ」にて、『一連登録』を行って下さい。

■ 発表の日時・分科会の決定

大会実行委員会が日時と分科会を決定します。日時指定でお申込みいただくことはできません。詳細は決まり次第、「大会ホームページ」（7月下旬を予定）に公開します。

■ 応募方法

インターネットによるオンライン応募[締切日：5月17日(月) 24:00(オンライン申込)]となります。大会ホームページ (<https://www.jssw.jp/conf/69/>) の応募画面から必要事項を記入して応募してください。詳細はホームページをご参照ください。

応募が完了すると登録をした E-mail アドレスへ「完了通知メール」が届きます。完了通知メールには、「演題受付番号」が記載されておりますので、大切に保管しておいてください。

インターネットによるオンライン応募時には、A4 版 2 ページの「要旨集掲載原稿（掲載原稿）」を提出していただきます。掲載原稿は「発表申し込みチェックリスト」の項目を満していることが必要です。

掲載原稿は、口頭発表、ポスター発表、特定課題セッションの区別にかかわらず、応募者全員に提出していただきます。

■ 要旨集掲載原稿について

要旨集掲載原稿については、「作成要領」に基づいて作成してください。発表申込締切り後の原稿の差し替えはできませんので、ご注意ください。

研究発表原稿様式を確認し、1.~5.の形式に準じて記載してください。

■ 著作権について

本大会で発表が承認された研究発表（口頭発表・ポスター発表・特定課題セッション）の要旨集に関する著作権は、日本社会福祉学会に帰属します。

■ 要旨集掲載原稿の再提出の方法

提出した掲載原稿が「修正の上発表可」と判断された場合、指定された期日までに、インターネットによるオンラインでの提出を行っていただきます。提出先の URL は、結果の通知メールに記載いたします。

再提出が完了すると登録をした E-mail アドレスへ「完了通知メール」が届きます。完了通知メールは、大切に保管しておいてください。

■ 発表分野

発表分野は次の通りですので、希望分野として第 1 から第 3 希望を選択してお申込みください。ただし、各分野の応募件数と会場の都合により、希望した分野以外に変更させていただく場合がありますことをご了承ください。なお、「特定課題セッション」を第 2 希望、第 3 希望とすることはできません。

また、「特定課題セッション」で申し込まれた方で採択されなかった場合、「口頭発表」または「ポスター発表」の分科会で報告ができますので、第 2 希望と第 3 希望は発表分野の「1~17」から選択してください。なお、「特定課題セッション」が不採択の場合に発表を取り下げたい方は、第 1 希望のみの記載で結構です。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 理論・思想 | 13. 社会保険（年金、医療、介護） |
| 2. 歴史 | 14. 医療保健・医療福祉 |
| 3. 制度・政策 | 15. 司法福祉・更生保護 |
| 4. 方法・技術 | 16. 社会福祉教育・実習 |
| 5. 児童福祉 | 17. 震災・災害福祉 |
| 6. 家族福祉 | 18. 特定課題セッションⅠ |
| 7. 障がい（児）者福祉（精神障がい含む） | 19. 特定課題セッションⅡ |
| 8. 高齢者保健福祉 | 20. 特定課題セッションⅢ |
| 9. 女性福祉・ジェンダー | 21. 特定課題セッションⅣ |
| 10. 地域福祉 | 22. 特定課題セッションⅤ |
| 11. 国際社会福祉 | 23. 特定課題セッションⅥ |
| 12. 貧困・低所得者福祉 | 24. 特定課題セッションⅦ |

■ 特定課題セッションテーマとコーディネーター

「特定課題セッション」の各テーマとコーディネーターは、以下のとおりです。なお、各セッションの「テーマ趣旨」については、「大会ホームページ」をご覧ください。

○特定課題セッションⅠ

「ソーシャルワークから今一度、ソーシャルポリシーへ
ー司法と福祉の連携からー」

コーディネーター：大西 次郎（大阪市立大学 大学院）

○特定課題セッションⅡ

「ジェンダー／フェミニズムからソーシャルワークを問う
ー何が実践に求められているのかー」

コーディネーター：横山 登志子（札幌学院大学）

○特定課題セッションⅢ

「今、改めて問う社会福祉士の倫理と価値
ー社会福祉士業務を AI が代行する際の倫理とルールを中心にー」

コーディネーター：川島 典子（福知山公立大学）

○特定課題セッションⅣ

「災害対応において今後、社会福祉に求められる役割」

コーディネーター：大島 隆代（早稲田大学）

○特定課題セッションⅤ

「子ども・子育て家庭にとっての現代の生きづらさと社会福祉のあり方を考える
ーコロナ禍・貧困・虐待・社会的孤立等ー」

コーディネーター：松村 智史（東京都立大学）

○特定課題セッションⅥ

「早期発見・早期療育システムを再考する
ー「子育て支援」としての障害のある子どもと家族の支援とはー」

コーディネーター：一瀬 早百合（和光大学）

○特定課題セッションⅦ

「介護福祉分野における専門職のグローバル化と国際協力に関する課題」

コーディネーター：永嶋 昌樹（日本社会事業大学）

※敬称略

■ 特定課題セッションの成立

募集した特定課題に沿っているとコーディネーターが判断した研究発表の応募が 3 つ以上ある場合に「特定課題セッション」が成立します。2 つ以下は不成立としセッションは実施しません。また、5 つ以上の応募があった場合は、コーディネーターの判断で 3 または 4 報告に絞ります。不成立・不採択の研究発表は、自由研究発表の分科会で報告することができます。採択の結果については、6 月下旬までに、メールにて応募者の方にご連絡いたします。

■ E-ポスター原稿について

ポスター発表での発表が可となった方は、8 月 9 日（月）の 9：00 までに E-ポスター原稿をオンラインで提出していただきます。E-ポスター原稿は、「作成要領」に従って作成してください。

提出された E-ポスター原稿は、倫理面での確認を行います。提出した原稿が「修正の上発表可」と判断された場合、指定された期日までに、インターネットによるオンラインでの提出を行っていただきます。

作成要領

1. 要旨集掲載原稿（口頭発表・E-ポスター発表・特定課題セッション）

■ 要旨集掲載原稿の様式

要旨集掲載原稿様式は、ホームページ（<https://www.jssw.jp/conf/69/>）にアクセスし、「研究発表申込要領・研究発表の要旨原稿作成要領」ページから原稿テンプレート（Word ファイル）をダウンロードして、ご自身のパソコンに取り込んでください。その Word 形式のまま原稿を作成（上書き）して、PDF 加工した後、オンラインで申込みをしてください。ファイルの容量は、3 メガバイト以下とします。

- 用紙サイズ・枚数は、1 発表につき、A4 版 2 ページの横書きです。厳守してください。2 ページに満たないものは、受け付けられません。
- 本冊子の「研究発表 原稿様式」のとおり作成してください。
- 余白を、上下左右 各 25mmあけてください。
- E-ポスター発表の応募者の方は、本冊子に掲示する様式のとおり、「表題・発表者欄」の最上段左端に【ポスター発表】（9 ポイント明朝）と記入してください。
E-ポスター発表の応募者以外の方は、原稿テンプレートの【ポスター発表】（9 ポイント明朝）は、削除してください。
- 原稿には、ページ番号、ヘッダなどの挿入は、決して行わないでください。
なお、原稿テンプレートにすでにあるヘッダ『日本社会福祉学会 第69回秋季大会』は、消さないでください。

■ 要旨集掲載原稿に記述する事項

- 本冊子の「研究発表原稿様式」のとおり、[テーマ、発表者全員の氏名・所属・会員番号（筆頭発表者には○を付ける）、キーワード 3 つ] を「上部の枠内」に明記してください。
- 本文の項目は、[研究目的、研究の視点および方法、倫理的配慮、研究結果、考察] の 5 つにしてください。
- 事例等の記述にあたっては、プライバシーの保護、関係者の承諾等、本冊子に掲載している学会の「研究倫理規程」に従ってください。人名、地名、職場名、学校名等の固有名詞は使用せず、A 県、B 市、C さん、D 施設などと表記し、実際のイニシャルは使用しないでください。
- 調査を伴わない文献研究の場合でも、すべての要旨には、必ず本冊子に掲載している学会の「研究倫理規程」で確認して、配慮の内容（日本社会福祉学会の「研究倫理規程」に基づき配慮したこと）を記載してください。記載が不十分な場合や記述がない場合、採択されないことがあります。
- 発表申し込みチェックリストを使用して、必要事項に漏れがないことを十分確認して下さい。

■ 要旨集掲載原稿の採択・不採択について

投稿された原稿の採択・不採択は、原稿の様式および本学会「研究倫理規程」等に照らして、実行委員会が「発表可」、「修正の上発表可」、「発表不可」のいずれかで判断します。結果は、6月中旬ごろに、発表申込者へ電子メールにて通知します。

「修正の上発表可」と判断された原稿は、期限内に修正して再提出を行っていただきます。なお、修正にあたり、実行委員会から指摘された場合を除き、タイトル、共著者の変更は認められません。

2. 口頭発表、特定課題セッションの当日発表用原稿

■ 発表用原稿の様式

口頭発表、特定課題セッションの発表は、Zoom ミーティングを使用したオンラインで行います。従来の当日配布資料の配布は行いません。発表には、パワーポイント等の画面共有を行うことができます。ただし、動画を使った発表は、視聴者のネット回線への負担が高いため、認められませんので、ご注意ください。

視聴者はPC画面等で見るようになりますので、その条件でよく分かるように、文字の大きさなどに配慮して作成して下さい。

また、発表用原稿について様式は指定しませんが、要旨集掲載原稿の表題の角の中すべて（20頁）を必ず記載ください。倫理的配慮についても、記載してください。

3. ポスター発表のE-ポスター原稿

■ E-ポスター原稿の様式

E-ポスターの原稿について、以下に留意してください。

- ・E-ポスター原稿はPDFで作成して、8月9日（月）の9：00までにインターネットによるオンラインシステムにて、投稿してください。
- ・E-ポスターの原稿には、「2. 研究の視点および方法」または「5. 考察」で、先行研究をどのように検討したのか言及してください。先行研究検討の記載がないものは「発表不可」とします。
- ・「3. 倫理的配慮」についても、必ず記載してください。
- ・サイズをA4版、枚数は7枚以上10枚以内とします。また、原稿は、ホームページ上で閲覧可能なように文字の大きさなどに配慮してください。
- ・提出するE-ポスター原稿は、1ファイルとしてください。複数のファイルの投稿はできません。また、ファイルの容量は、3メガバイト以下とします。
- ・提出していただいたPDFは、大会開催後にオンライン大会ページに掲載いたします。

4. 研究倫理

■ 要旨集掲載原稿・発表用原稿・E-ポスター原稿の研究倫理について

要旨集掲載原稿（掲載原稿）の様式が指定したものと違う場合、研究倫理の点から発表にそぐ

わないと実行委員会が判断した場合は受理いたしません。本冊子の掲載原稿の様式、および本学会「研究倫理規程」（本誌pp.23－24）、同「研究倫理規程にもとづく研究ガイドライン」（http://www.jssw.jp/society/doc/research_guidelines_2018.pdf）、同「『社会福祉学』への投稿論文における研究倫理に関する記述について」（https://www.jssw.jp/wp-content/uploads/notes_paper_ethics.pdf）、同「学会発表に関する注意事項」（http://www.jssw.jp/society/doc/conference_attention_2018.pdf）に照らして（以下、本学会「研究倫理規程」等）を十分確認の上、原稿を作成してください。当日の配布資料についても、「研究倫理規程」を確認し、作成してください。

また、原稿作成時には、発表申し込みチェックリスト（25、26頁掲載）を使用して、必要事項に漏れがないことを十分確認して下さい。

倫理的配慮は、要旨集・E-ポスター発表原稿に必須記載事項です。倫理的配慮は、研究倫理も含めた内容となります。歴史研究や文献研究等で、倫理に関わる審査を受けない研究においても、（自己）剽窃や多重投稿などの倫理問題への配慮が必要です。所属機関の倫理審査を受けた場合は、明記してください。また倫理審査委員会の審査を受けていない場合は、「一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理規程等にのっとり、研究を実施している」（文例）などの記載をお願いします。

9pt 明朝・左端揃
(E-ポスター発表の場合のみ記入)

主題: 12pt ゴシック・中央揃
副題: 10.5pt ゴシック・中央揃

筆頭発表者に ○: 9pt 明朝
所属: 9pt 明朝

氏名: 10.5pt 明朝
会員番号: 9 pt 明朝

【ポスター発表】

児童福祉施設におけるケアの特質と機能
ー21 世紀における児童福祉のあり方ー

○ ××大学 北山 太郎 (00000)

東山 次郎 (□□大学・00000)、山田 花子 (△△大学・00000)

〔キーワード〕 児童福祉、専門職、児童養護施設

キーワード3つ: 9pt 明朝・中央揃

The diagram consists of 10 rows of 10 circles each, totaling 100 circles. The first 5 rows are solid black, and the next 5 rows are white with black outlines. A curved arrow points from the top row to the bottom row, indicating a transition or cycle.

[illegible]

(※すべての報告者はこの点について記載すること。

詳細は、「要旨集掲載原稿・発表用原稿・E-ポスター原稿の様式および研究倫理について」(17頁)をご覧ください。

[illegible][illegible][illegible]

ページ番号を入力しない

発表要領

1. オンライン大会会場

第69回秋季大会では、参加申込を行った方のみが入ることのできる、オンライン大会会場を設けます。口頭発表、特定課題セッションへの参加・発表、E-ポスター原稿の閲覧、各シンポジウムへの参加、シンポジウムのオンデマンド配信動画の視聴などは、すべて、オンライン大会会場から行います。

詳細につきましては、大会ホームページでご案内いたします。

2. 口頭発表、特定課題セッション

■ 発表方法

Zoom ミーティングによるオンライン発表となります。参加に必要な Zoom ミーティング ID は、オンライン大会会場に掲載されます。発表者は、発表する分科会の開始から終了までの、すべてに参加する必要がありますので、分科会の開始時間前にログインして参加してください。

発表者自身の PC 上で、パワーポイントなどを画面共有により発表を行っていただきます。

ただし、動画での発表は認められませんので、ご注意ください。

■ 発表時間

口頭発表は、報告 15 分、質疑応答 10 分、総括コメント 15 分です。発表が 5 演題とすると、1 分科会の合計は 140 分（2 時間 20 分）となります。

特定課題セッションは、コーディネーターによる特定課題の説明 5 分、報告者による発表 15 分、事実関係に関する質疑 5 分、休憩 10 分、共同討議 45 分、コーディネーターによる総括 10 分です。4 報告が採択された場合、1 セッションは合計 150 分（2 時間 30 分）となります。

■ 口頭発表（分科会）での全体総括について

一昨年の大会と同様、本大会でも各分科会の後半において、「全体総括」の時間を設定します。したがって、各発表の筆頭発表者は、分科会終了まで会場を退席することはできませんので、ご了承ください。

3. ポスター発表（E-ポスター）

■ 発表方法

研究成果をまとめた E-ポスター原稿（PDF）を、オンライン大会ページに掲載して大会参加者に公開します。従来のポスター発表のような責任発表時間はありません。

E-ポスター原稿を閲覧した参加者から、発表に対する質問を web システムで受け付けます。質問があった場合、発表者が登録した E-mail アドレスに連絡が届きます。質問が届きましたら、指定期間内に、システムへ回答を入力してください。なお、回答は、質問者へ直接送るのではなく、参加者のすべてが質問と回答を閲覧できます。

E-ポスターおよび質疑応答は、一定期間、大会参加登録者に限定公開します。ただし E-ポスター要旨原稿は、学会 HP でアーカイブとして保存し、公開します。

4. 発表が成立する条件

「口頭発表」および「特定課題セッション」は、原則、本人が発表した上で、分科会の開始から終了まで筆頭発表者が参加することで「発表成立」とします（途中退席は不可）。

「E-ポスター発表」は、E-ポスター原稿が所定の期間大会ホームページで公開されることで「発表成立」とします。

一般社団法人日本社会福祉学会研究倫理規程

総 則

（目的）

第1条 本規程は、一般社団法人日本社会福祉学会会員（以下、会員とする）の研究における知的誠実さを涵養し、研究の倫理的なあり方を示すことにより、社会福祉学の進歩と普及を図り、学術の振興と人々の福祉に寄与・貢献することに資することを目的とする。

（遵守義務）

第2条 会員は、本研究倫理規程に則り、研究活動において良識と知的誠実さ、倫理が要請されることを自覚して行動しなければならない。

（人権の尊重）

第3条 会員は、研究活動を行うにあたって、人権を尊重し、年齢、性別、人種、国籍、思想信条、宗教、社会的地位、障がいの有無などにおいて差別的な取り扱いをしてはならない。

（個人情報の保護）

第4条 会員は、研究活動を行うにあたり、研究および調査の対象者の個人情報が守られるように配慮しなければならない。

（研究目的、方法、結果の倫理性の確保）

第5条 会員は、社会に対する責任と義務を自覚し、研究目的および研究方法、研究結果に倫理性を確保しなければならない。

（研究者としての責務）

第6条 会員は、常に最新の研究方法の探求ならびに先行業績の探索を通じて、自らの研究水準の向上に努めなければならない。

（知的所有権の侵害の禁止）

第7条 会員は、他者の知的所有権を侵害してはならない。

各 則

（説明と同意）

第8条 会員は、原則として、研究および調査対象となる個人、団体・組織、地域等に対して研究の趣旨等を十分に説明するとともに、研究の実施に同意を得なければならない。

（剽窃・捏造・改竄の禁止）

第9条 会員は、研究活動の実施にあたり、他者の研究成果を剽窃したり、調査データなどを偽造・捏造あるいは改竄する行為をしてはならない。

（研究資金の適正な活用）

第10条 会員は、研究資金を用いて研究する場合、研究資金の供与機関の定める執行要領等を遵守し、研究目的に合わせて適正に取り扱わなければならない。

（共同研究）

第11条 会員は、共同研究の組織化およびその運営にあたっては、民主的かつ健全に取り組みなければならない。

（ハラスメントの禁止）

第12条 会員は、研究活動において、アカデミック・ハラスメント等、いかなるハラスメント行為もしてはならない。

（研究成果の公表）

第13条 会員は、研究によって得られた成果の公表にあたっては、その社会的意義および社会的影響に十分配慮して、会員としての責任を自覚して実施しなければならない。

（二重投稿の禁止）

第14条 会員は、研究成果を原著論文等によって公表する際には、二重（多重）投稿をしてはならない。

（利益相反への対応）

第15条 会員は、研究の公正性、信頼性を確保するため、利害関係が想定される団体等との関わり（利益相反）について適正に対応しなければならない。

（本規程に違反した場合の処分）

第 16 条 会員が本倫理規程に違反する行為を行った場合には、別に定める規程に基づき処分される場合がある。

（規程の変更）

第 17 条 この規程を変更するときは、総会の決議を経なければならない。

付 則

1. 本規程は、2018 年 5 月 27 日より施行する。

なお、以下につきましても、確認の上、発表を行って下さい。

▼研究倫理規程

http://www.jssw.jp/society/doc/ethics_2018.pdf

▼研究倫理規程にもとづく研究ガイドライン

http://www.jssw.jp/society/doc/research_guidelines_2018.pdf

▼学会発表に関する注意事項

http://www.jssw.jp/society/doc/conference_attention_2018.pdf

▼「『社会福祉学』への投稿論文における研究倫理に関する記述について」

https://www.jssw.jp/wp-content/uploads/notes_paper_ethics.pdf

一般社団法人日本社会福祉学会第 69 回秋季大会

チェックリスト

Ⅰ 口頭発表・ポスター発表（E-ポスター）・特定課題セッション発表申し込みチェックリスト

- A 会員番号() 氏名()
 *グループによる発表の場合は、第一発表者のものを入力すること。
- B 発表区分 口頭発表 E-ポスター発表 特定課題セッション
 *該当するものにアンダーラインを引くこと
- C 発表タイトル『 』

下記の項目を全て確認し、不備がなければ各項目左側の口内にチェック済の印を入力してください。なお、投稿した「研究発表の要旨集掲載原稿」については、実行委員会からの修正依頼に基づく、形式等の軽微な修正は認められますが、提出後の研究内容にかかわる変更は認められません。その場合は取り下げ、ないしは、不採択となります。

Ⅰ 基本事項

- ☐ 1.原稿を A4 判 2 ページの横書きで作成しました。
- ☐ 2.研究目的、研究の視点および方法、倫理的配慮、研究結果、考察の 5 項目をすべて記載しました。
- ☐ 3.引用の際には、自説と他説を峻別し、原著者名・文献・出版社・出版年・引用個所を明示しました。

Ⅱ 共同研究の場合

- ☐ 4.本研究は共同研究であり、「研究発表の要旨集掲載原稿」への投稿内容について、共同研究者の承諾を得ています(「倫理的配慮」にも記載されています)。
 または、共同研究ではないため、承諾の必要はありません。

Ⅲ 人を対象とする研究の場合

- ☐ 5.本研究は人を対象とする研究であり、所属する研究・教育機関が設置する研究倫理委員会の承認を得ています(「倫理的配慮」にも記載しています)。
 または、所属先に研究倫理委員会が設置されていないため、人を対象とする研究かどうかにかかわらず、「日本社会福祉学会 研究倫理規程」を遵守し、「倫理的配慮」にも記載しています。
- ☐ 6.本研究は人を対象とする研究であり、対象者にプライバシーの保護のための説明をおこない、研究結果の公表について同意を得ています(「倫理的配慮」にも記載しています)。
 または、人を対象とする研究ではないが、本項目に抵触しない事を確認しています。
- ☐ 7.本研究は人を対象とする研究であり、対象者を特定化できないように匿名化しています(「倫理的配慮」にも記載しています)。
 または、人を対象とする研究ではないが、本項目に抵触しない事を確認しています。
- ☐ 8.本研究は人を対象とする研究であり、「研究発表の要旨集掲載原稿」への投稿の時点で、調査は完了しています(この時点で「調査をする予定」や「調査中」「集計・分析中」の場合には、「研究結果」と「考察」に到達していないため、不採択となります)。
 または、人を対象とする研究ではないが、本項目に抵触しない事を確認しています。

Ⅱ 要旨集掲載原稿投稿時チェックリスト

I 下記の項目を全て確認し、不備がなければ各項目左側の口内にチェック済の印を入力してください。

発表申し込み受付期間中は、修正は何度でも可能ですが、受付期間終了後には、登録内容が間違っている場合でも修正は受け付けません。

受付期間終了後には、投稿原稿に対して実行委員会からの修正依頼に基づく、形式等の軽微な修正は認められますが、提出後の研究内容にかかわる変更は認められません。

タイトルの変更、著者の追加・削除、所属の変更などについても、実行委員会からの修正依頼に基づくものでない限り認めません。その場合は取り下げ、ないしは、不採択となります。

- ☐ 1. 要旨集掲載原稿 PDF のタイトルと、登録したタイトルに相違はありません。
- ☐ 2. 要旨集掲載原稿 PDF の著者について、登録した情報と相違はありません。
- ☐ 3. 受付期間終了後には、タイトル、著者情報について修正ができないことに同意します。